

—10月1日国勢調査—

人口総数	76,211	世帯数	23,824
男	36,862	面積	16.07km <sup>2</sup>
女	39,349		

## ▷ 芦屋市民憲章 ◇

わたくしたち芦屋市民は  
 ■文化の高い教養豊かなまちをきずぎましょう  
 ■自然の風物を愛し、まちを緑と花でつつみましょう  
 ■青少年の夢と希望をすこやかに育てましょう  
 ■健康で明るく幸福なまちをつくりましょう  
 ■災害や公害のない清潔で安全なまちにしましょう  
 (昭和39年5月3日制定)

## 広報 あしや

昭和50年 11月20日 第356号

発行所 芦屋市精道町7-6 芦屋市役所 路行人 芦屋市長 編集 公聴広報課 印刷所 オーラ出版印刷 毎月2回5日20日発行 全世帯配布 昭和29年1月25日第3種郵便物認可(定価2円)

県・県住宅供給公社と  
開発協定を締結

百二十六ヘクタールの新しい土地が誕生しました。この新しい土地に、新しいまちづくりのための事業が、兵庫県住宅供給公社によって近く着手されることになります。まちづくりを進めるにあたり、事業分担等の基本的な事項について、兵庫県企業庁および兵庫県住宅供給公社と協議を進め合意に達しましたので開発協定を締結いたしました。

昭和四十四年に兵庫県企業庁が着手した芦屋浜埋立地は、本年三月末に全体が竣工し、百二十六ヘクタールの新しい土地が誕生しました。この新しい土地に、新しいまちづくりのための事業が、兵庫県住宅供給公社によって近く着手されることになります。まちづくりを進めるにあたり、事業分担等の基本的な事項について、兵庫県企業庁および兵庫県住宅供給公社と協議を進め合意に達しましたので開発協定を締結いたしました。

その概要は次のとおりです。

兵庫県住宅供給  
公社との協定

〔公共公益施設の整備〕  
道路、公園、緑道、下水道管渠、棚、ロードミラー、標識等)は開発計画

〔消防水利施設(防火水槽、消火栓)〕発者(公社)が整備して市に公共

〔開発計画〕

計画人口は二万人とし、富川を

境に、「近隣住区」とします。

住宅計画は、高層住宅三千四百戸、中層住宅九百戸、テラスハウスマ八百戸、独立住宅六百戸の計五千七百戸を地区内外の景観バランスを十分考慮して、安全、健康、快適、便利なまちづくりを計画します。

図のような土地利用計画になります。

〔財政圧迫の排除〕

芦屋浜に三万人が入居すること

によって財政圧迫にならないよう

開発者(公社)が十分配慮することを規定し、道路、公園、下水道、

交通安全施設および消防水利施設

は開発者(公社)の負担で整備し、

学校、幼稚園、保育所、ごみ焼却

場、下水処理場、消防署、コミュニティセンターおよびごみ真空吸

集施設については開発者(公社)

に応分の負担を義務づけています。

が参加されました。

懇談会では、市民のみなさんと

市長以下関係部課長、阪神県民局、

規制の強化を必要とする苦情やこれ

を理解していただき、市はみなさ

く理解していただき、市はみなさ

く理解して



## 第5回臨時市議会報告書

## 議長に村上氏、副議長に福原氏

第5回臨

約に伴い八千五百六十五万二千円  
(承認)時市議会は  
十月二十三日  
を追加補正するもの(承認)

報告第13号「専決処分報告(仮

精道第2幼稚園新築工事請負契

約の締結について」(承認)

議案第62号「芦屋市職員定数案

例の一部を改正する条例の制定に

ついて」(承認)

報告第12号「専決処分報告(芦

屋下水処理場(最初沈殿池・エア

レーションタンク・最終沈殿池)

レースされ認め、可

れたもの(承認)

報告第11号「専決処分報告(芦

屋下水処理場(最初沈殿池・エア

レーションタンク・最終沈殿池)

が認められました。

報告四件お

よび議案三

件がそれぞ

れ承認、可

決されまし

た。また、

本議長の辞

職が許可さ

れたのに伴

い、新しい

会議の初日

において山

本議長の辞

職が許可さ

れたのに伴

い、新しい

議長に村上

邦雄、副議長に福原芳雄の両議員

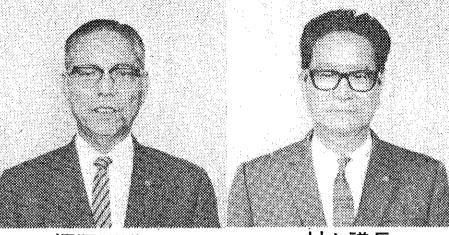
が選ばれました。

結果は次のとおりです。

▼第一回(十月二十三日)

報告第10号「専決処分報告(昭

和五十年度芦屋市一般会計補正予



福原副議長

村上議長

## 20才から国民年金

## 加入もれのかた

## はすぐお申出を

## 市民の黒板

## 市役所の電話③一一一

## 老令福祉年金請求

## 納付は、お済み?

## 国保料第三期分の

## 四ツ葉牛乳を飲む会

## 県立厚生専門

## 学院学生募集

## 市敬老年金の申請

## 四ツ葉牛乳を飲む会

## 長寿祝金

## 牛乳について

## 十一月末までの座談会

## 牛乳について

# 本との出会い 豊かな時間

## わたしの読んだ本

子どもの生活にテレビがはいって久しくなります。テレビが子どもを見過ごすことができません。ふとした機会にひもといた一冊の書物が、その人間の人生を大きくかえてしまうこともあります。

今回は、読書をテーマにとりあげ、小学生に読書感想文を書いてもらいました。これを機会に子どもたちが書物に心を示し、ひいてはその成長発達を促進することを期待したいと思います。

### 『路傍の石』

小学校四年・男子  
勉強好きで、素直な君といふ、少年の物語です。父が訴訟でいそがしく母だけが内職をやっていた。貧しいが、君一は学問が好きで、毎日やっていた。中学校へもうすぐというとき、父が吾に出た。友だちから「吾一、吾一」と呼びすてにされる気持ちはみなさんに何をかも水のあわになつた。そして吾一は、同級生の友だちの家に奉公に出た。

「おおきなかぶ」（絵・佐藤忠良）  
おじいさんが、かぶを抜こうとするが抜けない。おばあさんといっしょに「うんこらしょ」、まだまだ。孫もいっしょに「うんこらしょ」まだまだ。  
「ラチとらいおん」（絵・ベロニカ）  
ラチは、大きくなったら飛行士になるのが夢。でも気が弱くておくびょうである。あるとき、ライオンが出てきて特訓する。  
「わたしのワンピース」（絵・にしまきかやこ）  
空からおちてきた白いきれ。ワンピースに仕立てて花ばたけを行けば花もよう、雨の中では水玉もよう。  
「3びきのくま」（絵・バスネッオフ）  
森で迷った女の子が、だれもいない熊の親子の家で、スープをのんだり、ベッドで眠り込んだりする。そこへ熊が帰ってくる。  
「とらっく とらっく とらっく」（絵・山本忠敬）  
身近な各種の自動車を、お話しの中で紹介している。港から山の町へ荷物を運ぶトラック。スピードをあげすぎて、白バイにつかまつたりする。  
「かさじぞう」（絵・赤羽木末）  
おおみそかに、おじいさんは町へかさを売に行くが光れない。村はずれに雪の中に立っている6人の地蔵さまに、そのかさをかぶせてあげる。  
「だいくとおにろく」（絵・赤羽木末）  
どうやって急流に橋をかけようかと考えていると、鬼に出会う。鬼は、だいくの目玉と引きかえに橋をかけてくれるという。  
「ぐりとぐら」（絵・おおむらのりこ）  
のねずみのぐりとぐらは、大きなたまごを見つけて、大きなカステラを作り、森の動物たちとおなかいっぱいいたべた。  
「だるまちゃんとてんぐちゃん」（絵・加古里子）  
だるまちゃんは、いろんなものを持っているてんぐちゃんがうらやましくて、自分の考え方で見つける。うちわはやつでのはっぱ、かんむりはおわんと次々に考える。  
「かにむかし」（絵・清水嵐）  
昔話の「さるかに」だが、「かにどん、かにどん」といへいく」「さるのはんぱへ、あだうちに」と、リズムのあるくり返しが喜ばれる。読んであげるのによい本。

### 『おくめ号』

昭和50年11月20日  
第3種郵便物認可  
「はしれ! おくめ号」とれもゆか  
な感じの題だなと思いました。おくめ  
号とは、乗り物の名前だとは思いま  
し

## おかあさん 絵本 読んでよ!

最近、絵本に対する関心が高まっています。絵本は、生まれて最初に出会う、大切な本なのです。できるだけよい本に出会わせてあげたいものです。

▷絵にも文章にも文学性のあるもの、▷話のすじが単純なもの、▷文がうまく絵を助けているものなど、いろいろな条件がありますが、次の本などはいかがでしょう。

「おおきなかぶ」（絵・佐藤忠良）  
おじいさんが、かぶを抜こうとするが抜けない。おばあさんといっしょに「うんこらしょ」、まだまだ。孫もいっしょに「うんこらしょ」まだまだ。  
「ラチとらいおん」（絵・ベロニカ）  
ラチは、大きくなったら飛行士になるのが夢。でも気が弱くておくびょうである。あるとき、ライオンが出てきて特訓する。

「わたしのワンピース」（絵・にしまきかやこ）  
空からおちてきた白いきれ。ワンピースに仕立てて花ばたけを行けば花もよう、雨の中では水玉もよう。

「3びきのくま」（絵・バスネッオフ）  
森で迷った女の子が、だれもいない熊の親子の家で、スープをのんだり、ベッドで眠り込んだりする。そこへ熊が帰ってくる。

「とらっく とらっく とらっく」（絵・山本忠敬）  
身近な各種の自動車を、お話しの中で紹介している。港から山の町へ荷物を運ぶトラック。スピードをあげすぎて、白バイにつかまつたりする。

「かさじぞう」（絵・赤羽木末）  
おおみそかに、おじいさんは町へかさを売に行くが光れない。村はずれに雪の中に立っている6人の地蔵さまに、そのかさをかぶせてあげる。

「だいくとおにろく」（絵・赤羽木末）  
どうやって急流に橋をかけようかと考えていると、鬼に出会う。鬼は、だいくの目玉と引きかえに橋をかけてくれるという。

「ぐりとぐら」（絵・おおむらのりこ）  
のねずみのぐりとぐらは、大きなたまごを見つけて、大きなカステラを作り、森の動物たちとおなかいっぱいいたべた。

「だるまちゃんとてんぐちゃん」（絵・加古里子）  
だるまちゃんは、いろんなものを持っているてんぐちゃんがうらやましくて、自分の考え方で見つける。うちわはやつでのはっぱ、かんむりはおわんと次々に考える。

「かにむかし」（絵・清水嵐）  
昔話の「さるかに」だが、「かにどん、かにどん」といへいく」「さるのはんぱへ、あだうちに」と、リズムのあるくり返しが喜ばれる。読んであげるのによい本。

「おくめ号」とれもゆか  
な感じの題だなと思いました。おくめ  
号とは、乗り物の名前だとは思いま  
し

49年度・21万冊 人口の三倍近く  
こんなにたくさんのが図書館から貸し出され、利用されました。  
もちろん、小槌町の図書館だけなく、分室や子ども文庫、移動図書館などでも貸し出されたもの。

49年度・21万冊 人口の三倍近く  
こんなにたくさんのが図書館から貸し出され、利用されました。  
もちろん、小槌町の図書館だけなく、分室や子ども文庫、移動図書館などでも貸